

三陸新報

サンマたくさん食べて

第81豊清丸・中館漁労長

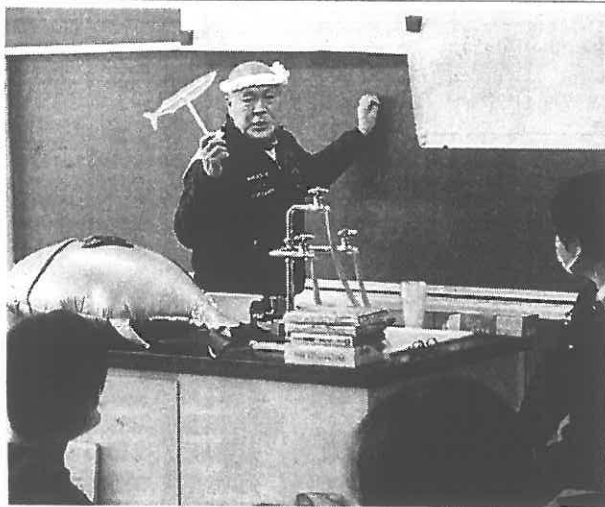
鹿折小で食育授業

気仙沼

した。
ねじりはちまきを
した中館漁労長は、地図
を示しながらサンマの
漁場は主にロシア、日
本の排他的経済水域
(EEZ)内であるこ
とを説明。公海上で操
業する中国や台湾など
の外国船が資源減少の
一因になっていること
を話した。

気仙沼の魚を学校給
食に普及させる会(白
井壯太郎会長)による
食育の授業が13日、鹿
折小学校で行われた。
大型サンマ棒受け網船
の漁労長が漁場や漁法
などを解説し、「サン
マをいっぱい食べよ
う」と呼び掛けた。
講師を務めたのは、
第81豊清丸の中館捷夫
漁労長(76)。「市内本
吉町歌生」。海洋教育
の一環として授業を受
けた4年生33人を前
に、「さんまってどん
なの?」と題して講話
魚食を勧めた。

中館漁労長は、サン
マには脳の発達や記憶
力向上に効果があるD
HA(ドコサヘキサエ
ン酸)などの栄養素が
多く含まれていること
も話し、「これから夢
を持って歩むには何よ
り健康でなければ」と
魚食を勧めた。



講話する中館漁労長